

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立大垣南高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年11月4日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣南高校会議室
- 4 参加者委員
会長 竹内 治彦 岐阜協立大学学長
委員 五十川智宣 大垣ケーブルテレビ取締役、同窓会副会長
今村あおい (株) 新生メディカル取締役社長
小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校校長、元岐阜大学教育学部教授
小山亜希子 (社福) 楽山・杜の会理事
酒井 吾郎 洲本連合自治会長
竹中 拓也 太平洋工業株式会社人事開発部長
藤田万喜子 岐阜聖徳学園大学教育学部教授
三輪 賢司 岐阜県公民館連合会会長、元岐阜県小学校校長
山田 靖 大垣南高等学校育友会長
オブザーバー 伊藤 秀光 岐阜県議会議員
学校側 川瀬 英樹 校長
楠井 徳之 教頭
古山 晴美 事務長
北原 剛 教務部長
折山 真生 進路指導部長

5 会議の概要

・ 授業の様子について

- 意見1: どの教室もタブレット端末を持っていた。生徒に尋ねると、タブレット端末を利用した授業は面白いと言っている。また、生徒自身も使いこなしている。教職員と生徒の関係性もよい様子で、よくコミュニケーションがとれている。
- 意見2: 生徒は、タブレット端末にソフトウェア上で書き込みをするなど使いこなしていた。英語ではリスニングを少人数で行っており、教職員の目が届いている。どの教室も雰囲気は和やかでよかった。
- 意見3: 授業は静かで、生徒は一生懸命取り組んでいた。生徒の人数の割には、教室が手狭である。生徒の大きな荷物が机の間に置いてあり、非常時の際には危険である。荷物を廊下に出せるとよい。
- 意見4: どの教室もしっかりと換気がされていた。生徒の荷物が大きいのは気になった。数学の習熟度別授業は、教員の目が届いておりよかった。どの教職員もタブレット端末を使っていたが、教材作り等の準備も大変そうなので、ICTが苦手な教職員をサポートできる体制ができるとよい。
- 意見5: 3年生を見学したが、大学受験に向けた授業という印象であった。理科や地歴公民の授業は、知識・理解を重視した授業であった。生徒がノートにまとめるといった様子が少なかった。
- 意見6: 今年の10月から法改正により自転車の乗り方が厳しくなった。ヘルメットは努力義務だが、指導できるとよい。
- 意見7: 授業見学した中で、タブレット端末を使用しているクラスは1クラスだけであった。どの学年でも利用できるとよい。教職員が、ホワイトボードに太いマーカーで書いているのが見やすくよい。
- 意見8: 1, 2年の習熟度別授業では、上の習熟クラスに上られるチャンスがあるとよい。
- 意見9: 演習が多くいわゆる普通の授業が多い。大学受験が近づくと昔ながらの授業になっていくのかと思った。

・ 地域の学校として、魅力ある学校づくりについて

- 意見1: 小中学校は、地域のよさを研究することで地域とのつながりが大きい。高校は、広域から生徒が集まるため難しいと思うが、地元の小中学校とつながるようなことができるとよい。
- 意見2: 地元の役場や大学には、本校の卒業生が多い。地元に残って活躍する知識層をしっかりと育成してもらおうが、本校の大きな役割だ。これからも進学校としての教育をしっかりと行うことが大事なポイントだ。
- 意見3: インターンシップや総合的な探究の学びを通して地元との繋がりがある。仲間と多くの体験をし、それを生徒自身が気軽に発信できる場を作ってほしい。
- 意見4: 本校の進学校の軸足を揺るぎないものとしてほしい。大学だけでなく、将来を見据えた学びを選ぶことができるような進路指導ができるとよい。
- 意見5: 自分が高校生生の時の進路選択時には狭い視野だったので、視野を広げる助言を与えてほしい。

6 全体のまとめ

3年の進路決定については、生徒本人の希望に沿うようにすることが前提だが、大学卒業後のことを踏まえた指導ができるようにしていきたい。進学校であることを軸足として、地域と関わることも取り入れながら、生徒を成長させていきたい。